

(8) 登録団体アンケート

「市民が共におこすまちづくり条例」に基づき「市民活動及び協働の推進」のための様々な施策を実施する今治市。本会が指定管理者として管理運営する「今治市民活動センター」は、その一つの推進拠点となっている。2010年度は、「市民活動及び協働の推進」の現状の取り組みへの率直なご意見をいただき、今後の今治市の市民活動行政推進の参考とすることを目的に、登録団体を対象にアンケートを実施した。

対象者：今治市民活動センター登録団体 111 団体

方法：登録団体へアンケート用紙の送付。郵送・FAX・メールにて回収。

期間：平成22年9月28日～11月30日

有効回収数（回収率）：96 団体（86.5%）

実施者：今治市

今治市民活動センター指定管理者：特定非営利活動法人今治NPOサポートセンター

結果：

【調査1】今治市民活動センターに関すること

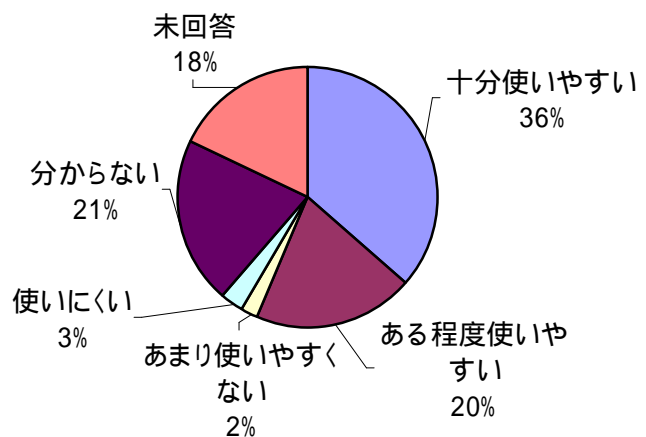
1. 施設（事務所・会議室）の使いやすさについて

使用経験がなく「分からない」との回答が21%あったが、使用している団体の大半は、無料で使いやすい施設と高評価だった。

元ビジネスホテル跡を大きな改装をせず利活用しているため、会議室の広さなどを含め、使い勝手の悪さの指摘が開館当初からある。改装要望などに応えることが現実的には難しいため、現況のまま有意義に活用していただけるよう理解を求めたい。

(団体)

十分使いやすい	35
ある程度使いやすい	19
あまり使いやすくない	2
使いにくい	3
分からない	20
未回答	17



「十分使いやすい」と答えた方の意見

- ・無料で使える。
- ・飲食ができる。
- ・開館時間が長い（遅くまで使える）。
- ・直前の申込でも融通が効く。
- ・駐車場が広い。
- ・交通の便がよい。
- ・机・椅子はもとよりエアコンまで完備してあるのがありがたい。

「ある程度使いやすい」と答えた方の意見

- ・使用料が無料でいい。
- ・会議室が広い。

「あまり使いやすくない」と答えた方の意見

- ・使いやすいとはいえない。
- ・もう少し小スペースの部屋がほしい。

「使いにくい」と答えた方の意見

- ・部屋のバリエーション（広い和室、調理室、舞台のある部屋）が少ない。
- ・部屋の広さがバラバラで使いにくい。

「分からない」と答えた方の意見

- ・あまり利用しないので分からない。

（自由記述の意見は、文体統一等の為、一部、加筆、修正しています。）

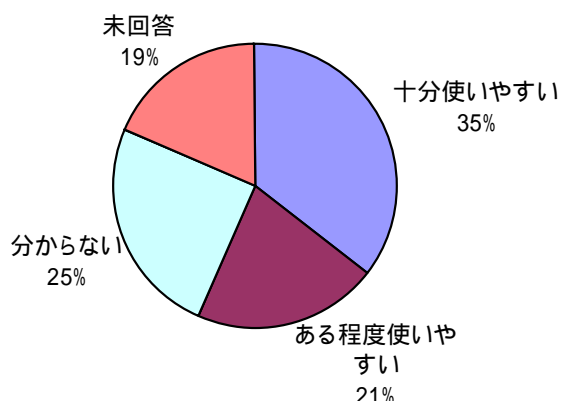
2. 設備・備品類の使いやすさについて

使用経験がなく「分からない」との回答が25%あったが、使用している団体の大半には必要な備品が整っていると高評価だった。

大会議室・ロビーに設置しているストーブが「点火しにくい」との意見があったが、今冬、買い替えられ、改善された。デジカメやパソコンなどの機器の貸出の要望については、可能な範囲で整備を検討していきたい。

(団体)

十分使いやすい	34
ある程度使いやすい	20
あまり使いやすくない	0
使いにくい	0
分からない	24
未回答	18



「十分使いやすい」と答えた方の意見

- ・輪転機がある。
- ・備品、調度品が揃っている。
- ・空調が有料のため、遠慮なく使える。
- ・コピー料金安い。
- ・貸出の手続きが簡易で、借りやすく、信用されている気がする。
- ・必要なものは十分揃っている。

「ある程度使いやすい」と答えた方の意見

- ・ストーブがつきにくいので改善して欲しい。
- ・会員の人達が利用出来る、デジカメやパソコンを増やして欲しい。

「分からない」と答えた方の意見

- ・あまり利用しないので分からない。
- ・利用したことがないので分からない。

（自由記述の意見は、文体統一等の為、一部、加筆、修正しています。）

3 - 1 . 講座・交流会等の開催について

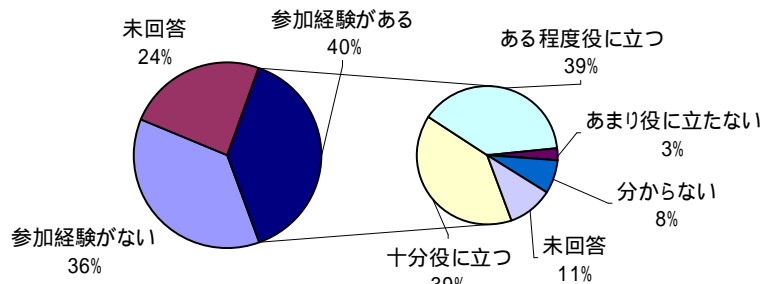
「参加経験がない」団体が36%となっている。一人でも多くの団体が参加したい講座内容、参加しやすい曜日・時間帯の設定や周知方法などを検討する必要性を感じた。

参加経験のある団体の79%から、「十分役に立つ」「ある程度役に立つ」との高評価をいただく一方、課題として単発的な開催になっていることがうかがえた。今後は、学びの内容がつながり、深まっていく工夫を取り入れていきたい。

(団体)	
参加経験がある	38
参加経験がない	35
未回答	23

- 2 . 参加経験がある方の企画への満足度

(団体)	
十分役に立つ	15
ある程度役に立つ	15
あまり役に立たない	1
役に立たない	0
分からない	3
未回答	4



「十分役に立つ」と答えた方の意見

- ・とても学びの深い講座だった。
- ・もっと参加したいと思えた。
- ・先進事例が聞け、参考になった。
- ・実体験が聞け、参考になった。
- ・新しいつながりが増え、よかった。
- ・協働につながるよう、より交流したいと思った。

「ある程度役に立つ」と答えた方の意見

- ・また参加したいと思った。
- ・意見交換を継続的にしたいと感じた。単発的な開催なのが残念。
- ・他グループの活動内容が聞け、参考になった。

「分からない」と答えた方の意見

- ・時々しか参加しないので分からない。
- ・参加したいが予定が合わず、参加できていない。
- ・開催の時間的に、参加できない。

(自由記述の意見は、文体統一等の為、一部、加筆、修正しています。)

4 - 1 . 機関紙「夢サラダ」について

69%の団体に購読いただき、多様な情報がある紙面へ高評価をいただいた。
 今治市広報への掲載は、掲載情報に一定のハードルがあるなど、市民活動関連情報を網羅できないことから、本機関紙の価値は評価されているが、一方で、本機関紙は不特定多数の市民が購読できていない状況である。多くの市民の目にとまる配布先の開拓などが課題である。また、内容の充実と共に、レイアウトなどで読みやすく、興味をひく構成に尽力したい。

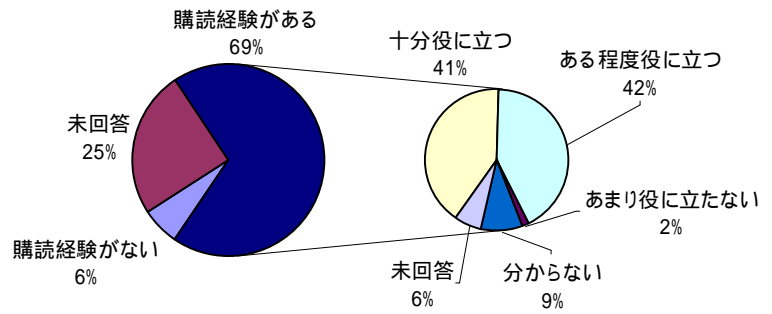
(団体)

購読経験がある	66
購読経験がない	6
未回答	24

- 2 . 購読経験がある人の誌面構成や内容への満足度

(団体)

十分役に立つ	27
ある程度役に立つ	28
あまり役に立たない	1
役に立たない	0
分からない	6
未回答	4



「十分役に立つ」と答えた方の意見

- ・情報が沢山ある。
- ・他の団体の活動を知ることができる。
- ・助成金情報を知ることができる。
- ・障がい者の情報を知ることができる。
- ・今治市の広報にも掲載できればと思う。「夢サラダ」を知らない人も多いと思う。

「ある程度役に立つ」と答えた方の意見

- ・内容が現実的である。
- ・分かりやすい
- ・レイアウトに少し余白があると見やすい。
- ・他団体との連携を模索する際の参考になる。
- ・活動方針の方向性が同じ団体の活動状況が把握できるので、将来的な協働の可能性を考えることができる紙面である。
- ・ボランティアしたい人の情報（体力、知力、技力を持って提供したい人）が得られ、ありがたい。
- ・市民活動や市民を元気にし、また人と人の結び付きを深めることにつながると思う。

「あまり役に立たない」と答えた方の意見

- ・内容は問題ないが、個人的には自分にあまり役に立たない。

(自由記述の意見は、文体統一等の為、一部、加筆、修正しています。)

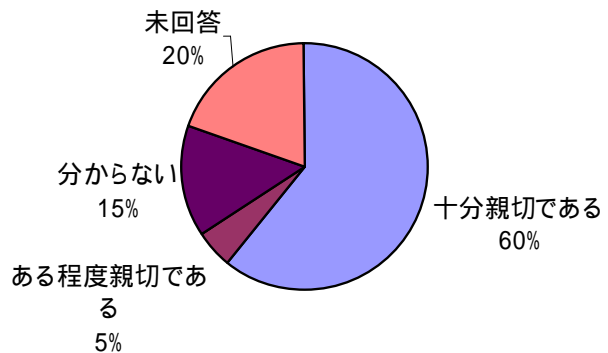
5. スタッフの対応について

開館業務、相談やコーディネーション業務等で、日常的にコミュニケーションの機会が多い施設として、スタッフの対応に高評価をいただいた。引き続き、接遇維持に努めたい。

市民活動団体の皆さんと同じ目線に立ち、様々な活動を実践していくと共に、情報収集や学習など、スキルアップに努め、信頼される施設づくりにまい進していきたい。

(団体)

十分親切である	58
ある程度親切である	5
あまり親切でない	0
親切でない	0
分からない	14
未回答	19



「十分親切である」と答えた方の意見

- ・ホットとする。
- ・何でも即答してくれる。
- ・知識が豊富である。
- ・対応が丁寧である。
- ・親身になって聞いてくれる。
- ・肩の力を抜いて接することができる。
- ・よく気配りしてくれる。

「ある程度親切である」と答えた方の意見

- ・一度返事が返ってこないことがあり、それ以後ご無沙汰である。
- ・あまり連絡をとらないので分からないが、別に問題ない。

「分からない」と答えた方の意見

- ・センターをあまり利用しないので分からない。

(自由記述の意見は、文体統一等の為、一部、加筆、修正しています。)

【調査 2】市民主体のまちづくり推進に関すること

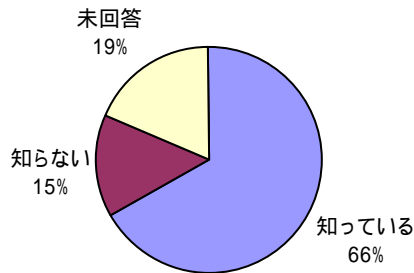
1. 「市民が共におこすまちづくり事業補助金」制度の必要性について

「市民が共におこすまちづくり事業補助金」は 66%の団体に認知されている。また、その必要性についても、74%が支持している。自発的な市民の活動が多様に展開されることが、まちの活気につながるとの期待が現れており、行政の後押しも必要かつ有効との意見が多かった。プレゼンテーション方式など、補助金交付のしくみについても高評価であり、補助金申請の経験が団体のスキルアップにつながるとの見方もあった。

公益性が高く、社会変革の可能性のある事業の選択と、交付団体の将来的な自立性を見極めることの大切さがうかがえた。

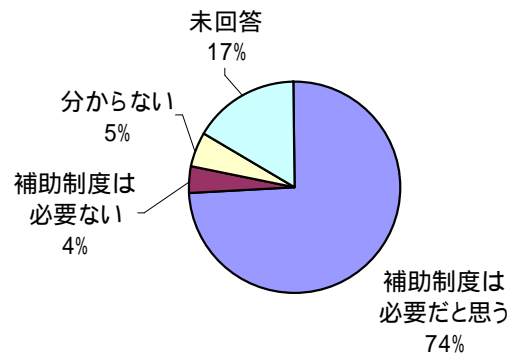
制度について (団体)

知っている	64
知らない	14
未回答	18



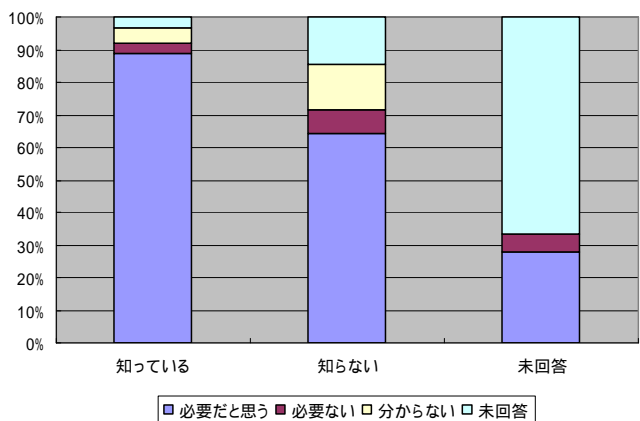
(団体)

補助制度は必要だと思う	71
補助制度は必要ない	4
分からない	5
未回答	16



(団体)

知っている	補助制度は必要だと思う	57
	補助制度は必要ない	2
	分からない	3
	未回答	2
知らない	補助制度は必要だと思う	9
	補助制度は必要ない	1
	分からない	2
	未回答	2
未回答	補助制度は必要だと思う	5
	補助制度は必要ない	1
	分からない	0
	未回答	12



「補助制度は必要」と答えた方の意見

- ・市民が立ち上げ、住民感覚で現実をとらえた健康で明るいまちづくり推進をすることができる。結果、まちが豊かになり、文化的な広がりが増すと思う。継続してほしい。
- ・市民が主体的、自発的に活動したいと思った時、条例及び、補助金制度は後押ししてくれ、夢の実現につながる。大変いい制度である。今後も続けてほしい。今治市を住みよいまちにするために、市民活動が活発になることを願う。

- ・市民活動が活発になれば、市の活性化につながる。できる支援はしてほしい。
- ・補助制度には賛成。今後も継続して欲しい。
- ・活動立ち上げの際、人的支援は「今治市ボランティアセンター」で、財政支援は行政で受けた。財政的支援は必要。
- ・一步踏み出す時の補助金は大事。
- ・補助金を活用した経験から、初期の団体には絶対必要だと思う。
- ・補助制度を2度活用させて頂いた。財政的な援助はもちろんだが、補助制度で事業をすることにより、多数の市民に知って頂く効果があり、大きな力を得た。ぜひ続けてほしい。
- ・活用した経験がある。近々、平時の活動とは別に大きな催しを企画しており、申請を検討している。
- ・小規模団体はメンバーが資金を出し合いながら細々と活動している。メンバーが負担しきれない場合、補助金は活動の後押しとなり、心強い。
- ・メンバーの「持ち出し」での活動が多い。用紙代やガソリン代などの経費の補助枠があればと感じる。
- ・活動する中で、通信費などの補助があればと思う。あくまでボランティアなのでこだわらないが。
- ・新たな活動を立ち上げる際に、補助制度を活用したい。補助以外にも、広報支援で協力して欲しい。
- ・収益性のある事業展開はなかなか難しい。具体的な活動のきっかけや啓発活動に補助金は役立つ。
- ・組織を立ち上げ後活動資金に行き詰まる団体が多い。補助制度が活用できれば随分ありがたい。
- ・市民へ影響力のあるイベントや企画の際、団体だけではまかなえない。補助があればいい支援となる。
- ・活動を継続するために、外部からの知識や情報の取得が必要だと思う。新たな事業展開の際、資金が必要となる活動もある。小額でも補助する制度は助けになる。
- ・活動を広げたい団体にとって、補助金は有効である。
- ・メリハリのある補助金の使い方ができて良い。
- ・プレゼン方式が良い。
- ・行政が担うこととは違う、公益性のある"まちづくり"のための手法(事業)を実行するためには、資金は当然必要である。補助は必要。どんな活動を支援するかを選択が大変だと感じる。
- ・「活気のあるまちづくり、まちおこし」に補助するのならば、必要。
- ・自主的な市民活動はより良い地域社会をつくるには不可欠。行政の補助が得られることで、その活動がより一層推進されると思う。
- ・補助制度により、活動の活発化、同時に成長を促進させることができる。
- ・協働推進枠などが設けられているが、団体同士の連携につながることで、さらには、行政とNPOの協働の足がかりになることを願う。
- ・審査委員、申請経験共にある。補助によって行政サービスのスリム化につながることで大事である。
- ・補助制度の存在をはじめて知った。文面だけでは理解し難く、補助金の説明会を設けてほしい。
- ・活動をはじめたばかり。活動が軌道にのりはじめたら、補助制度も考えてみたい。
- ・時節柄、内容に関する精査は必要になる。会議やイベントを行う際、金額の大小に関らず費用が発生する。手弁当頼りでは限界があるので、補助は必要。
- ・事を始める上で、資金調達の問題は必然的におこる。活動を促すきっかけの要因のひとつになる。現行の補助率を見直し、1/1の補助事業も行えるようにすればいいと思う。

「補助制度は必要ない」と答えた方の意見

- ・本当に市民にとって必要と思える企画が少ないように思う。
- ・企画書の上手下手があり、内容が不明確で伝わらない。
- ・補助金をあてにせず活動したい。ボランティアは無報酬でいい。

「分からない」と答えた方の意見

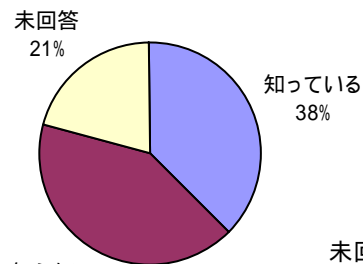
- ・草の根的な活動には使えない制度である。
- ・企画書を書くのが上手な人がメンバーにいないと申請できない。
- ・申請や報告へ労力をかける気持ちになれない。

(自由記述の意見は、文体統一等の為、一部、加筆、修正しています。)

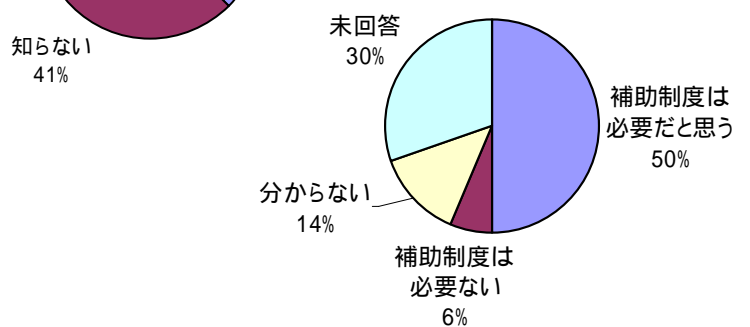
2. 「特定非営利活動法人設立費等補助事業」について

「特定非営利活動法人設立費補助事業」は制度が新しいこともあり、38%の団体にしか認知されていないが、その必要性については、50%が支持しており、今後は、制度の周知の必要性が感じられた。設立時には細々した経費が発生するため、「助かる」との意見が多くある一方、「設立時の運転資金よりも事業費を」「NPO 法人に一律的に（審査無く）補助するのは疑問」などの意見が寄せられた。

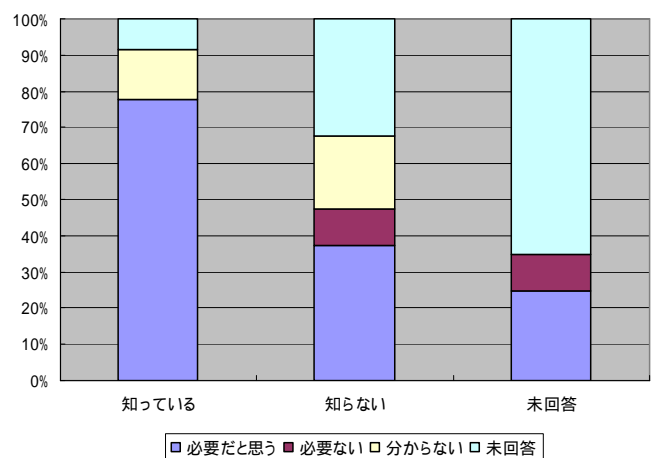
回答内容	数
知っている	36
知らない	40
未回答	20



回答内容	数
補助制度は必要だと思う	48
補助制度は必要ない	6
分からない	13
未回答	29



認知状況	意見	数
知っている	補助制度は必要だと思う	28
	補助制度は必要ない	0
	分からない	5
	未回答	3
知らない	補助制度は必要だと思う	15
	補助制度は必要ない	4
	分からない	8
	未回答	13
未回答	補助制度は必要だと思う	5
	補助制度は必要ない	2
	分からない	0
	未回答	13



「補助制度は必要」と答えた方の意見

- ・ 今後も継続してほしい。
- ・ 初期費用等の支援は受けたい。
- ・ 初期費用が意味するところが不明な面はあるが、「立ち上げの事務諸費用ならば不要 自分達で工面すべき」「初年度全体の活動助成ならば有用 ただし次年度以降は自立を目指すべき」。
- ・ 実情を理解された良い制度だと思う。
- ・ 行政の支援があると心強い。
- ・ 法人化する際の手助けになる。
- ・ 設立時は諸経費が必要なので助かる。地域に根ざした活動の足がかりになるか不明なことが懸念材料。
- ・ 初動、運転資金が必要であるため必要だと思う。

- ・初期の費用の補助も必要だが、3年～5年目での補助があればうれしい。
- ・支援制度が後押しとなり、活動の幅を広げていくために法人化を目指す組織が増えると思う。
- ・軌道に乗るまで必要な制度である。
- ・他の補助金や助成金が減っている中、ありがたい。
- ・設立時の補助制度は非常に役立つ。ただ、使い方や目的等はしっかりチェックしていくことが必要。
- ・信用性を担保することが必要。NPOを名乗った公益性のない活動もある。
- ・アイデアを具体的な形にするのが難しい。補助と同時に支援する窓口が必要。
- ・法人設立には大きな金額はかからない。印鑑代、登記のコピー代程度の支出（1万円以内）。肝心なのは、法人設立後の事業運営費。

「必要はない」と答えた方の意見

- ・運営の継続には、自主的に可能な範囲でしていく事が大切。補助を当てにした継続できない事業が多発するのでは？「NPO 法人設立」の方法など具体的な指導や、書類関係の作成の指導を手伝うことの方が求められる。
- ・NPO 法人を一律に補助することには疑問を感じる。信用性の担保は？

「分からない」と答えた方の意見

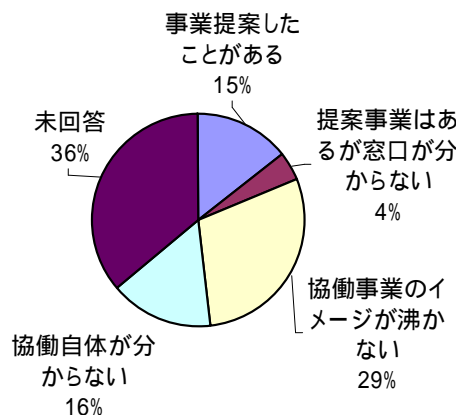
- ・志を持って設立する事業への補助となるか、目的、規模等を見極める作業が大変。
- ・税収が減る中、自治体は予算を大幅に削減している。今治市も同じ。予算がある間しか続かないのでは。ここに投資する意義があるのか。補助制度よりは、自立できるルールづくりを。
- ・NPO 法人だけでなく、任意団体にも予算をつけて欲しい。

（ 自由記述の意見は、文体統一等の為、一部、加筆、修正しています。）

3. 協働提案について

行政と市民活動団体の協働への期待が高まる中、49%が何らかの理由で「協働」の実態を捉えられていないことが分かった。協働事業の事例などを通して、行政と市民活動団体双方が「協働」の必要性や可能性を学び、今治市にあった「協働」を生み、育てる基盤整備を進めていくことが求められる。今後は、市民活動センター事業を通じて、市民と行政の協働の推進に努めていきたい。

(団体)	
事業提案したことがある	14
協働事業はあるが窓口が分からない	4
協働事業のイメージが湧かない	28
協働自体が分からない	15
未回答	35



「事業提案したことがある」と答えた方の意見

- ・提案した事業が今も続いており、助かっている。
- ・提案をしたが、受け入れてもらえなかった。協働の必要性は疑問。
- ・市民活動団体の「力不足」もあるが、行政サイドの認識不足が大きい。十分に機能していないのでは？
- ・市民が行政に何をしてもらおうかではなく、何ができるかが大事。ただ、市民は力不足の事が多い。
- ・意欲がある市民団体を行政が応援することで1+1=2でなく3~4になると思う。
- ・団体個々での提案は難しい作業だと思う。
- ・市議員を通して事業提案をした経験はあるが、市の窓口申し入れた事は無い。

「協働事業はあるが窓口が分からない」と答えた方の意見

- ・不登校の子どもたちの学習できる場所づくりを提案したい。
- ・自立を目的とした障害者学習センターの設置を提案したい。
- ・子ども達への文化伝承、子育て中のお母さん達のケアなど、一団体での事業展開では限界がある。協働して、ノウハウの提供はできる。

「協働事業のイメージが湧かない」と答えた方の意見

- ・過去の協働事業例と報告等があればよりイメージしやすい。相談もしやすいと思う。
- ・行政サイドのホンネが分からない。提案して「大きなお世話」、「責任だけ負わされる」などの懸念もあり、そうすると互いのマイナスになる。行政が、本心として協働したいと思っているのかどうか、協働の前提、協働したい具体的な内容等、情報があれば、可能なことはしていきたい。
- ・あれもこれもと、様々な意見が有る場合、混乱が生ずるだけだと思います。ある程度の方向性なり指針なりを今治市が示す事が先決なのではないでしょうか。
- ・指定管理を受けているので、その事業が協働事業と捉えている。

「協働自体が分からない」と答えた方の意見

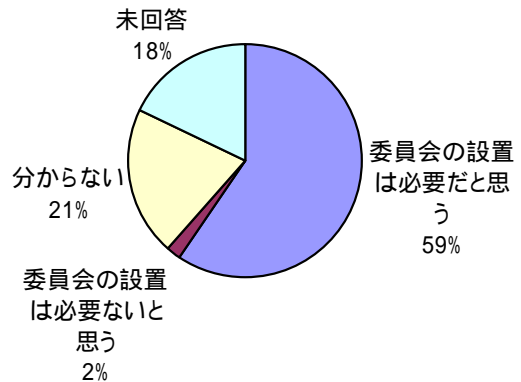
- ・市長に対して、提案したい。窓口は？
- ・協働の範囲が分からない。

(自由記述の意見は、文体統一等の為、一部、加筆、修正しています。)

4. 公募委員を含めた「市民活動推進委員会」について

59%が「委員会の設置は必要だ」と回答し、かつ21%の「分からない」と回答した方についても、本質的な議論や現場にあった内容設定など、有意義な手法のもとでの設置を望むとしており、市民参加のしくみとして、委員会が機能していくことへの支持が集まった。

(団体)	
委員会の設置は必要だと思う	57
委員会の設置は必要ないと思う	2
分からない	20
未回答	17



「必要だと思う」と答えた方の意見

- ・研究者等に委員を依頼し、市民の納得できる提言書を作成し、市も実現に向けて検討し、公開を。
- ・市民の声を聞くことは、必要である。
- ・まさにこの制度を活用したい。
- ・短期間に集中的に設定が望ましい。
- ・オープンな場は必要だと思う。
- ・委員会の内容にもよるが、設置はした方がいい。
- ・広く、多様な意見が集まる。また、推進に向け、積極的な意見を聞く事ができる。
- ・広い視野の活発な意見交換と提言を期待する。
- ・関る事により学べる事、活かせる事が多くなる。
- ・今まで考えなかった広い視点からの提案が必要。
- ・物事をより良き方向にするために委員会は必要。
- ・委員会により具体的な案がでてよいと思うが、その結果（成果）が見えにくい。市民への周知が少ないように思う。
- ・市民の声を活かしてこそ、市民に役立つ税金の活用ができると思う。
- ・市民の声を多く聞いて取り組むことは必要。
- ・広く市民の目、耳、口を以って、各地域の実情や、願、又何が必要であり、共に起こし、やって行けるか、を調査研究する事が大事。
- ・専門性又、経験豊富な委員の方々に魅力的意見をどんどん提言してほしい。
- ・よりバランスのとれた委員会であればと思う。
- ・外部から人材を入れ、実りあるものにすればより活性化すると思う。
- ・議論をし、地方分権に向けた準備をしたほうがいい。
- ・市民要望の窓口は、行政内に置かないで独立させた事業母体を設ける必要がある。

「分からない」と答えた方の意見

- ・何を基準にするのかなど、委員の方がボランティアを理解していないと、わからないのではないかと、人選が大事。
- ・委員会の設置は必要だと思う。市民活動の実践経験があるので、公募委員となったこともある。その委員会は、話し合う前から着地点、結果が決まっていた。例えば、具現化するためのものを深く掘り下げる、知恵や具体案を出す委員会であれば継続すべき。
- ・今治の市民活動には育成（教育）がないように思う。考え方の方向転換が必要ではない。

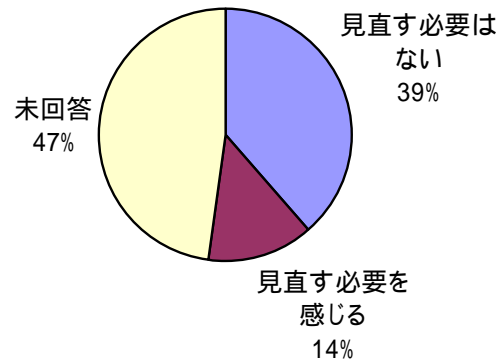
（ 自由記述の意見は、文体統一等の為、一部、加筆、修正しています。 ）

5. 「市民が共におこすまちづくり条例」の見直し等の必要性について

未回答を除くと、74%が「見直す必要はない」と回答している。市民委員参画のもと、制定プロセスも公開しながら施行された条例へ高評価が寄せられた。「見直す必要を感じる」と回答した26%からは、市民参加や協働の推進、市民活動の基盤整備や拡充を求めるニュアンスの意見が寄せられ、条例に基づいた具体的な有効施策の展開を求めるものであり、ダイレクトに「条例の見直し」を求めるものではなかった。

一方で、未回答が47%あり、条例の認知度の低さをうかがわせた。市民に浸透させていく方策の必要性を感じた。

(団体)	
見直す必要はない	37
見直す必要を感じる	13
未回答	46



「見直す必要はない」と答えた方の意見

- ・ いい条例だと思う。
- ・ 今のところ、問題点は見つからない。
- ・ 市民、市民活動団体、行政の立場や責務などが明記されており、分かりやすい。協働の必要性が伝わってくる条例だと思う。
- ・ 市民活動団体の長所をいかした施策をしていこうという姿勢が見える条例だと思う。市民と行政が条例を活用していくべきだと思う。
- ・ 今治市をより良いまちにしていくために、公の施設の利用や補助制度、提案制度などの必要性を明記している。必要な条例だと思う。
- ・ 難しい言葉が少なく、読みやすく、市民にも理解できる内容となっている。
- ・ 市民に浸透させて行く事が第一義で、そこに見えてくる問題があれば、見直していけば良い。
- ・ 予算上の問題もあり、今のままで妥当である。
- ・ 見直すまでは不要だが、実動性の担保をする仕組みを加えた方がよい。
- ・ より良いものに成長させる為なら必要だが。
- ・ 条例を見てないので何ともいえない。

「見直す必要を感じる」と答えた方の意見

- ・ 定年後、活動できるすばらしい人材があるが、なかなか活動への参加に勇気がない方がいる。きっかけづくりをボランティアの方々がすればよいと思う。
- ・ 条例を作っている以上、意味のあるものにしていくことが大事だと思う。
- ・ 他市町と比較して今治市の条例は利用しやすく有効なものだと思う。ただ、団体の活動内容にかたよりのがあるので幅広い活動ジャンルが利用できるよう見直しは必要。
- ・ 補足として、事例を掲載しカンタンな説明を入れてみたらどうか。
- ・ 市民活動推進委員会で各種問題等を検討して繁栄させて欲しい。

(自由記述の意見は、文体統一等の為、一部、加筆、修正しています。)

6. 市民主体のまちづくりを進めるために必要なこと（感想を含む自由記述）

- ・行政の支援は、年によって差がある。補助は、余分なものは次年度に繰り越すなどの措置が必要。
- ・各団体の活動内容を広く市民に知ってもらう機会が大切。活動経験のない人が登録団体の事をあまり知らないのでは。
- ・同じような活動をしている方たちの繋がり、大きい活動としていくことが大切。
- ・横のつながりが少ない。もっと各団体が相互に刺激しあえるしくみづくり。
- ・個々の小さな団体がつながっていくこと。
- ・団体の横のつながりが無い。各々が手をつなげばもっと力を発揮できる。
- ・団体主催の事業の中で、今治市の共催・後援事業には、関連課の職員に参加していただきたい。
- ・各団体が継続力、資金力、運営力、組織力を持つこと。
- ・活動を進めていく上で、学習が必要。
- ・書類作成などの勉強会。
- ・市民団体の知恵と工夫。
- ・市民団体のエゴ排除と寛容性。
- ・市民活動の実践者がその必要性をしっかりと認識すること。
- ・団体の構成員全員が何らかの運営にたずさわること。
- ・市民活動のメンバーが地域住民に声かけができること。
- ・口コミで活動をひろげること。
- ・一部の市民しか動いていない。市民ひとりひとりが関心を持つための対策、提案、イベントなどを工夫し、市民に浸透させること。
- ・各自の自覚。余っている時間を提供できるシステム、受けるシステムが必要。元気なまちづくりのため、出来ることから・・・と思うことが第一歩。
- ・「まちづくり」とは何かを問い直すことが必要。
- ・市長の考え、構想などをわかりやすく市民に伝えること。現時点で、どのくらい進んでおり、その中に市民の意見が入っているかなどを伝えて欲しい。
- ・各種情報の公開。
- ・市民活動推進の方向性は理解できるが、具体的なイメージがわきにくい。具体的事例、先進事例などを積極的にPRし、市民の多くに浸透すると思う。
- ・いろんな発想があるので、広く市民に意見を聞く場面を作ることが大事。自由に意見を述べてもらう場と、自由に意見を述べられる雰囲気をつくり、良い意見は活かすこと。
- ・各種委員会への市民の参加（公募委員制を含む）
- ・今治市へ適切な「成果主義」の導入。
- ・市民主体...待っていても何も始まらない。個々人が多忙そうな中、中心となってスタートを切れる"人"を見つけること。"まきこまれて~"のきっかけは何でも良い。住みよい社会になるといい。
- ・今治市をはじめ、愛媛県内の市民活動は低調。幅広い広報、理解促進が必要。
- ・複数の推進サポーター。
- ・本気。
- ・今治市は何の特徴もないと考えている人が多い。見慣れている風景や気候、言い伝え等を市民が知り、まちに自信を持ち、自慢できる市民が増えることが必要。市民が元気にならないとまちは元気にならない。
- ・自給自足。人・モノ・金は自分達でつくること。その足がかりとして、補助金は起爆剤となる。
- ・市民活動、NPOは儲ける組織ではないが、人・モノ・金を生むためどこかで儲けないといけない。
- ・生活に余裕がある人がする活動ではなく、普通の人がある活動への方向付けること。
- ・市民活動＝ボランティアではないという考え方。
- ・行政頼みの活動、行政主導からの脱却。
- ・机上の理論からの脱却。案ずるより産むがやすし。
- ・啓発活動。

- ・不景気のためか、元気がない。大人に元気（活気）がないと、子どもも同様。子どもと年配の方が共有できるスペースをつくり、大人と子どもが互いに活気付け合うことが必要。
- ・もっと市民に広げること。広げるためのアイデアが浮かばない。
- ・まちづくりに関心をもっている市民の声を、行政にもっと取り入れて欲しい。
- ・建物の建設で、文化、歴史が損なわれる現実が信じられない。許可をした行政に矛盾を感じる。
- ・他の市民団体と共に、一般市民に参加を呼びかけることが必要。
- ・団体運営の仕方がわからない団体が多い。セミナーなどがあるが、もっと頻繁にするべきだと思う。
- ・市民ひとりひとりの「思い」が必要。お金も必要。
- ・市民が主人公と気づく働きかけ。生活に追われていては難しい。余裕が生まれるような行政活動。
- ・小さなこと、可能な事柄から始めること。行動が新たな知恵や方針を生み、継続により発展する。
- ・社会参画をする団体又、自発的な意志で活動する者達が交流する事。活気の有る前向きな意見が出る。
- ・行政側は「待ち」の姿勢では無く、市民を元気にする為に頭を使い、身体を使って欲しい。
- ・「ご意見箱」を人の集まる所、気軽に立ち寄れる所等に設置して意見を集めること。
- ・将来的に市民活動が重荷だと思われる、街のマイナスである。市民活動が他の諸問題を解決する1つになると信じている。実際に経験値としても思う。
- ・アンケートの受け取り方により、予算削減の一旦とされることを懸念する。市民活動を市民生活に取り入れる仕組みづくりにより、必ず元気で潤いあるまちにつながる！！
- ・行政のビジョン、市民アイデアの実行力、市民のまちづくりに対する思いが必要。
- ・市民も、言いつばなし、行政任せにならず、責任をもてる言動と行動がこれからは必要。
- ・市民活動団体と市民をつなぐ機会が必要。イベントも市民団体が参加しやすい配慮が必要。
- ・事業所が多い土地柄。事業主たちとのマッチングが進むような展開がほしい。

(自由記述の意見は、文体統一等の為、一部、加筆、修正しています。)